

# 書 写

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい書写
4	大 日 本	中学校書写
1 1	学 図	中学校書写
1 5	三 省 堂	中学生の書写
1 7	教 出	中学書写
3 8	光 村	中学書写

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・題材の目標の示し方	単元・題材ごとの目標の示し方と目標の数
		② 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等
		③ 伝統と言語文化に関する内容の記述	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数、伝統的な言語文化に関する内容及びページ数
(イ)	学習方法の工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活の中の書体の具体例を示した教材とページ数及び用具の種類
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方
		⑥ 発展的な学習の扱い方	発展的な資料の表記・配置、単元名、ページ数及び内容の扱い
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	写真・図・イラストによる筆使いの示し方
(オ)	言語活動の充実	⑨ 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	学習や日常生活に生きる単元名、単元の数、教材名

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元・題材の目標の示し方
<b>方法</b>	単元・題材ごとの目標の示し方と目標の数

第1学年「行書」				
	単元	毛筆の題材	上段：目標の示し方 下段：目標の例	目標の数
東書	行書を書こう	「大洋」「星座」「空想」	○ 目標を示すイラストを決め、題材ごとに示している。 ○ 「行書の書き方を理解しよう。」	4
大日本	行書を調べて書こう	「白砂」「天地」「流星」「秋雲」「無我夢中」	○ 「ねらい」と明記して、題材ごとに示している。 ○ 「楷書と行書の筆使いの違いを理解して、行書の書き方を身につけましょう。」	6
学図	行書を書こう	「栄光」「紅葉」	○ 「目標」と明記せず、題材ごとに示している。 ○ 「行書の筆使いや字形を調べよう」	3
三省堂	漢字を速く書こう	「自由」「元気」「未来」	○ 「目標」と明記して単元目標を示している。 ○ 「行書の基礎的な特徴を理解して書く」	1
教出	行書で書こう	「大木」「栄光」「平和」	○ 題材ごとに「目標」と明記して示している。 ○ 「点画の形の変化と筆脈の連続を理解して書こう。」	4
光村	行書を書こう	「緑」「栄光」	○ 「目標」と明記せず、題材ごとに「ステップ」「ジャンプ」として示している。 ○ 「行書の特徴を知ろう」	6

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②姿勢，執筆法，用具の扱いの示し方
<b>方法</b>	正しい姿勢や執筆法，用具の扱い方の写真・イラスト等

正しい姿勢や執筆法，用具の扱い方の写真・イラスト等				
	第1学年	ページ数	第2・3学年	ページ数
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真，傾いた姿勢のイラスト，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 鉛筆・ボールペン・チョークの持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 用具の置き方，筆の部分の名称，筆のおろし方，墨のすり方の写真</li> <li>○ 用具（筆・硯）の片付け方の記述</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，傾いた姿勢のイラスト，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 鉛筆の持ち方のイラスト</li> </ul>	3
<b>大日本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法）・小筆（枕腕法・提腕法・単鉤法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆の持ち方のイラスト</li> <li>○ 用具の置き方，筆の部分の名称の写真・イラスト，筆のおろし方の記述</li> <li>○ 用具（筆・硯）の片付け方の記述</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真，大筆（双鉤法・単鉤法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆の持ち方の写真</li> <li>○ 墨のすり方のイラスト</li> </ul>	1
<b>学図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆・ボールペン・チョークの持ち方の写真，不適切な持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称，筆の各部の名称と働き，筆の種類，墨のすり方の写真</li> </ul>			3
<b>三省堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆・シャープペンシル・ボールペンの持ち方の写真，不適切な持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称の写真</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆・ボールペンの持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称の写真</li> </ul>	3
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，姿勢チェック欄，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（枕腕法・提腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆・ボールペン・サインペン・フェルトペン・万年筆の持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方，墨の持ち方とすり方の写真</li> <li>○ 用具（筆）の片付け方の写真</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，毛筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（枕腕法・提腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆の持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方の写真</li> </ul>	3
<b>光村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆の持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称，筆の各部の名称，墨のすり方の写真</li> <li>○ 用具（大筆・小筆・硯）の片付け方の写真</li> </ul>			5

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③伝統と言語文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数, 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数

	書写の歴史に関する資料等の内容			伝統的な言語文化に関する内容		
	学年	内容	ページ数	学年	内容	ページ数
東書	1	文字を書く用具・用材	1	1	古文「竹取物語」	1
	2・3	文字と, 文字を書いてきた人々	2	2・3	いろは歌	1
		用具・用紙のできるまで	2		古文「枕草子」「おくのほそ道」	2
漢字の成り立ちと移り変わり	2	漢文「蘭亭序」, 和歌「蓬萊切」	1			
大日本	1	書体の移り変わり	2	1	楷書いろは歌 俳句	2 1
	2・3	筆と墨ができるまで	1	2・3	俳句	1
		文字文化について考えよう	2		行書いろは歌	2
		漢字の生い立ちを考えて書こう	2		古文「枕草子」	1
書体の移り変わりと漢字の成り立ち	2	漢文「蘭亭序」	2			
学図	1～3	筆のできるまで	1	1～3	和歌「蓬萊切」	1
					楷書いろは歌	2
					古文「竹取物語」	1
					行書いろは歌	2
三省堂	1	文字の豊かな世界と触れ合おう	2	2・3	和歌, 短歌, 俳句	2
	2・3	漢字の変遷	2			
教出	1	筆, 墨, 硯, 紙について知ろう	2	1	楷書いろは歌 古文「竹取物語」	2 2
	2・3	あの人が残した文字 文字の変遷	2 2	2・3	和歌「古今和歌集」	2
					古文「枕草子」「平家物語」	2
古文・俳句「おくのほそ道」	2					
光村	1～3	漢字ワンダーランド 漢字の移り変わりを見てみよう 仮名の誕生物語	2 2 1	1～3	楷書いろは歌	2
					俳句	2
					行書いろは歌	2
					古文「枕草子」「平家物語」	1

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	日常生活の中の書体の具体例を示した教材とページ数及び用具の種類

	学年	日常生活の中の書体の具体例を示した教材	ページ数	用具の種類
東書	1	身近にある多様な書き文字	4	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, 色鉛筆, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン, クレヨン
	2・3	身の回りの文字と効果, 多様な文字, 表現したいことに合わせて	4	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, シヤープペンシル, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン, クレヨン
大日本	1	世界遺産を調べてみよう, ポスターやチラシを作ろう	3	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, シヤープペンシル, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン, つけペン
	2・3	活字と手書き文字, 広がる文字の世界	3	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン
学図	1～3	身のまわりの書き文字を探そう	2	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, 色鉛筆, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン, クレヨン
三省堂	1	身のまわりの文字	2	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, シヤープペンシル, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン
	2・3	身のまわりの文字	2	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, シヤープペンシル, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン, クレヨン, チョコペン
教出	1	目的に合わせて書こう	2	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, 色鉛筆, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン
	2・3	目的や必要に応じて書こう, 多様な表現による文字	5	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, ボールペン, 万年筆, サインペン, フェルトペン, 筆ペン
光村	1～3	手書き文字と活字, 漫画家の手書き文字, 身の回りの文字を調べよう, 広告と文字	5	毛筆大筆, 毛筆小筆, 鉛筆, ボールペン, サインペン, フェルトペン, チョーク

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
<b>方法</b>	見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方

	見通しを立てて学習するための構成上の工夫	自己評価の仕方
東書	○ 「目標」を示し、「調べよう」で学習内容を確認し、「確かめよう」で毛筆教材に取り組み、「広げよう」で発展的課題や硬筆に取り組みよう、教材を配列している。学習の最後に「学習を振り返って」で自己評価をするようにしている。	○ 各教材末に「学習を振り返って」が示してある。「できた」「○」、「もう少し」「△」で自己評価を記入する。
大日本	○ 各教材の冒頭に「ねらい」を示し、毛筆教材を使って学習を進め、そこで習得した内容を硬筆教材で確認・定着するよう、教材を配列している。	○ 自己評価欄はない。
学図	○ 各単元の目標を単元名として示し、毛筆教材を使って学習を進め、そこで習得した内容を硬筆教材で確認・定着するよう、教材を配列している。単元の最後に自己評価するようにしている。	○ 各単元末にだるまの絵が示してあり、できたと判断したら、だるまに目を書き入れる。
三省堂	○ 各単元の冒頭に目標を示し、「考えよう・話し合おう」で示された例を比較して気づいたことをまとめ、「気づきを生かして書こう」「毛筆で確かめよう」で練習課題に取り組み、技能を習得し定着するよう、教材を配列している。学習の最後に自己評価、相互評価するための観点を示している。	○ 各教材末の「確かめ合おう」で評価の観点を示してあるが、記入欄はない。
教出	○ 各教材の冒頭に目標を示し、硬筆で「試し書き」をし、「考えよう」で学習課題について整理した後に毛筆教材に取り組み、「生かそう」で硬筆教材に取り組み、「まとめ書き」で習得した技能の定着を図るよう、教材を配列している。各教材末に「振り返ろう」で自己評価するようにしている。	○ 各教材末に「振り返ろう」を示し、「できた」「○」、「もう少し」「△」で自己評価を記入する。
光村	○ 各教材の冒頭に目標を示し、「知ろう」で基本的技能を習得し、「考えよう」で学習した技能を確認した後、毛筆教材に取り組み、「生かそう」で硬筆教材に取り組みよう、教材を配列している。学習の最後に自己評価・相互評価するための評価の観点を示している。	○ 各教材末の「振り返ろう」で評価の観点を示してある。(記入欄はなし)

<b>観点</b>	(イ) 学習方法の工夫
<b>視点</b>	⑥発展的な学習の扱い方
<b>方法</b>	発展的な資料の表記・配置，単元名，ページ数及び内容の扱い

	表記・配置	単元名	ページ数	内容の扱い
東書	○ 第1学年と第2・3学年のそれぞれに「発展」として掲載している。	○ 第1学年 「行書と仮名の調和を考えよう」	1	○ 第1学年では第2学年の内容を，第2・3学年では高等学校の内容を扱っている。
		○ 第2・3学年 「日本の書の美」	1	
大日本	○ 第2・3学年に「発展」として掲載している。	○ 第2・3学年 「古典の文字から学ぼう」 「書体字典を使った学習」	5	○ 行書の古典，仮名の古典と書体字典の文字を扱っている。
学図	○ 巻末資料「書写便利図鑑」の中に「発展」として掲載している。	○ 第1～3学年 「自分の印を作ろう」	2	○ 発展学習として篆刻に挑戦するという内容を扱っている。
三省堂	○ 第2・3学年の巻末「資料編」の中に「発展」として掲載している。	○ 第2・3学年 「自分の名前をデザインしよう」	2	○ 自分の名前を彫った印や名前の文字のデザインを扱っている。
教出	○ 第1学年と第2・3学年のそれぞれに「発展」として掲載している。	○ 第1学年 「行書と仮名の調和」	1	○ 第1学年では第2学年の内容を，第2・3学年は古典を扱っている。
		○ 第2・3学年 「気持ちのつながりから文字のつながりへ」 「王羲之の書」	2	
光村	○ 第3学年に「発展」として掲載している。	○ 第3学年 「先人の文字に学ぶ」	2	○ 古典を見習って書く「臨書」に挑戦するという内容を扱っている。

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦単元・題材や資料等の配列
<b>方法</b>	総ページ数，毛筆教材数及び毛筆教材例，硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	第1学年の毛筆教材例	硬筆記入欄のページ数
東書	1	56	10	「若木」，「緑風」，「びわの実」，平仮名五十音，「大洋」，「星座」，	16
	2・3	68	11	「空想」，「夢」，「広い視野」，「温故知新」	7
大日本	1	49	12	「大志」，「長城」，「条約」，「親しい友」，いろは歌，「白砂」，「天地」，	16
	2・3	74	18	「流星」，「秋雲」，「無我夢中」，「太陽の恵み」，「一望千里」	20
学図	1～3	76	19	「天地」，「登頂成功」，「風かおる」，いろは歌，「栄光」，「紅葉」，「輝け未来」，「伝統文化」，「自主独立」	13
	資料	20	0		0
三省堂	1	56	9	「和音」，平仮名五十音，「思いやり」，「自由」，「元気」，「未来」，	15
	2・3	46	11	「楽」，「日進月歩」，「輝く生命」	7
	資料	18	0		1
教出	1	56	9	「天地」，「風車」，「星あかり」いろは歌，「大木」，「栄光」，「平和」，	15
	2・3	58	9	「新たな決意」，「公平無私」	14
	資料	6	0		0
光村	1～3	92	22	「大地」，「春風」，いろは歌，俳句，「緑」，「栄光」，「前進」，「不言実行」，「清新の気」	21
	資料	28	0		1



<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	写真・図・イラストによる筆使いの示し方

第1学年「行書」			
	写真	図	イラスト
東書	○ 筆記用具の動きを測定している機器の写真を載せ、行書の方が楷書より速く書けることを、筆圧のグラフと共に載せている。	○ 薄墨と朱の二色で筆使いを示したものを載せている。 また、矢印で運筆を示している。 ○ 楷書と行書を比較している。	○ 楷書と行書の始筆の違いをイラストで載せている。 ○ キャラクター（うさぎ）を使って、行書の特徴を示している。
大日本	○ 部分ごとに、穂先や筆圧の様子を写真で載せている。	○ 楷書と行書の筆使いの違いを点画ごとに表にまとめている。 ○ 薄墨で筆使いを示したものを載せている。	○ 載せていない。
学図	○ 部分ごとの筆使いを写真で載せている。 ○ 教材に合った風景の写真を載せている。	○ 薄墨と朱の二色で筆使いを示したものを載せている。 また、筆順、筆脈等を示している。 ○ 楷書と行書を比較している。	○ キャラクター（筆）を使って、書くときのポイントを示している。
三省堂	○ 基本点画の筆使いを写真で示している。 (第1学年 楷書の基本点画, 第2学年 行書の基本点画)	○ 薄墨と朱の二色で筆使いを示したものを載せている。 ○ 楷書と行書を比較している。	○ キャラクター（生徒）を使って、書くときのポイントを示している。
教出	○ 部分ごとの、穂先や筆圧、筆脈を写真で示している。	○ 薄墨と朱の二色で筆使いを示したものを載せている。 また、矢印と筆順で筆脈等を示している。 ○ 楷書と行書を比較している。	○ キャラクター（生徒）を使って、課題提示をしている。
光村	○ 行書の始筆と終筆の筆使いを写真で示している。	○ 行書の特徴をまとめている。 ○ 楷書と行書を重ね合わせて示してある。 ○ 薄墨の濃淡で筆使いを示したものを載せている。 また、穂先の向きを示している。	○ キャラクター（生徒）を使って、書くときのポイント等を示している。

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
<b>方法</b>	学習や日常生活に生きる単元名, 単元の数, 教材名

	単元名	学年	学習や日常生活に生きる単元の数	教材名
東書	○ 教材名の前に「生活に広げよう」と示している。	1	4	「目標を書こう」「年賀状を書こう」「職場訪問をしよう」「書き初めをしよう」
		2・3	5	「好きな言葉を書こう」「マラソン大会を運営しよう」「書き初めをしよう」「文化祭をつくろう」「書き初めをしよう」
大日本	○ 生活に生かして(1) ○ 生活に生かして(2) ○ 書き初めを書こう	1	3	「文字の大きさと配列」「原稿用紙を使って書こう」「レポートの書き方」「自分の部屋や教室に手書き文字の作品を掛けよう」「年賀状を書こう」「書き初めを書こう」
	○ 生活の中の書写を学ぼう ○ 書き初めを書こう ○ 好きな言葉や文を書こう ○ 生活に生かそう ○ 書き初めを書こう	2・3	5	「招待状を書く」「会議録を書く」「手紙を書く」「封筒を書く」「横書きの手紙の形式」「書き初めを書こう」「配列の方法について」「自分の言葉を書こう」「のし袋」「暑中見舞いのはがき」「宅配便伝票」「活字と手書き文字」「書き初めを書こう」
学図	○ 書き初め ○ 書き初め ○ 書写を学習に生かそう ○ 書き初め	1～3	4	「書き初め」「書き初め」 「いろいろな学習に生かそう(教科や総合的な学習の時間, 文化祭や委員会活動)」「修学旅行」「作品を作ろう(色紙, 短冊, 額装, 寄せ書き)」「書き初め」
三省堂	○ 学習のまとめ ○ 書き初め	1	2	「今年の自分を漢字一字で表そう」「書き初め」
	○ 文字の使い方を工夫しよう ○ 学習のまとめ ○ 書き初め ○ 書き初め	2・3	3	「文字の使い方の工夫を見つけよう」「本の帯をつくろう」「感謝の気持ちを伝えよう」「書き初め」「書き初め」
教出	○ 目的や必要に応じて書こう ○ 書き初めを書く	1	2	「手紙を書く」「年賀状を書く」「学校生活に生かして書く」「書き初めを書く」
	○ 目的や必要に応じて書こう ○ 身のまわりの多様な文字に関心をもち, 効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く ○ 学習の成果を生かそう ○ 書き初めを書く	2・3	5	「さまざまな書く場面」「手紙を書く」「はがきに便りを書く」「掲示物(ポスター)に案内を書く」「新聞を書く」「書き初めを書く」「伝達手段としての文字」「多様な表現による文字」「書き初めを書く」
光村	○ 広げよう書写の輪 ○ 書き初め ○ 広げよう書写の輪 ○ 書き初め ○ 身の回りの文字を調べよう ○ 未来に向けて ○ 書き初め	1～3	7	「学校生活に役立つものを作ろう」「書き初め」「絵手紙で気持ちを伝えよう」「書き初め」「写真の中から文字を探そう」「身の回りの文字を調べよう」「本の帯を作ろう」「将来に向けての決意を書こう」「書き初め」